

2010年3月期 決算説明会

2010年5月12日
株式会社電通国際情報サービス

COPYRIGHT 2010 INFORMATION SERVICES INTERNATIONAL - DENTSU, LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

AGENDA

第1部 2010年3月期決算概況、および 2011年3月期業績予想について

取締役 常務執行役員
梅沢 幸之助

第2部 2011年3月期経営方針について

代表取締役社長 最高執行責任者
釜井 節生

I. 2010年3月期 決算概況

取締役 常務執行役員
梅沢 幸之助

1. 2010年3月期 決算サマリ

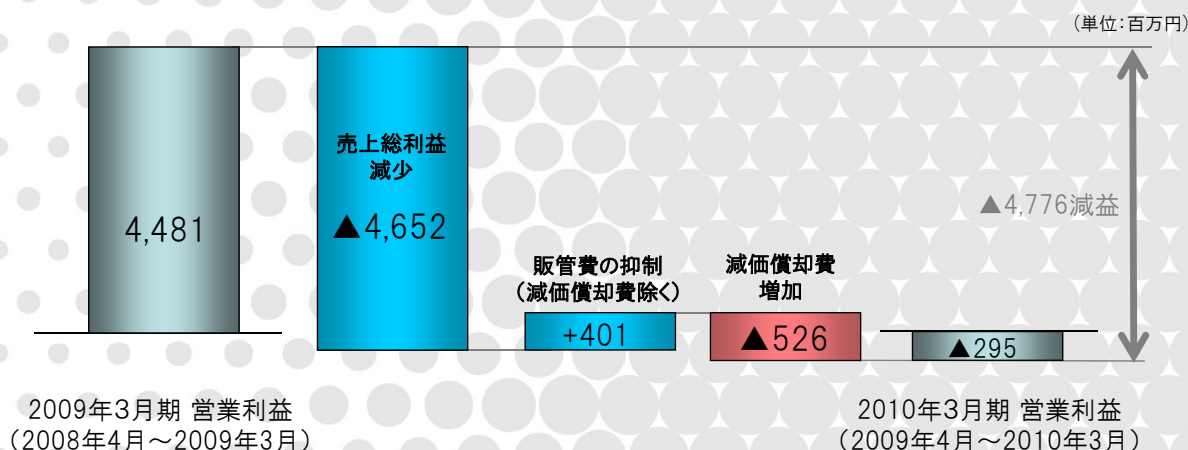
- 【前期比】 売上高は前期比139億円の減収。売上総利益も減益となる一方、
販管費が前期比横ばいに留まったため、営業利益は前期比約48億円の減益。
- 【予想比】 売上高は2/3発表予想を若干上回る。売上原価および販管費の更なる抑制により、営業利益も予想を約7億円上回った。

(百万円)

	10年3月期	前期との比較			2/3発表予想値との比較		
		09年3月期	増減額	増減率	予想	増減額	増減率
売上高	61,155	75,148	▲13,993	▲18.6%	60,971	+184	+0.3%
売上総利益	18,744	23,396	▲4,652	▲19.9%	18,553	+191	+1.0%
売上総利益率	30.6%	31.1%	▲0.5pts	—	30.4%	+0.2pts	—
販管費及び一般管理費	19,040	18,915	+125	+0.7%	19,540	▲500	▲2.6%
営業利益	▲295	4,481	▲4,776	—	▲986	+691	—
営業利益率	▲0.5%	6.0%	▲6.5pts	—	▲1.6%	+1.1pts	—
経常利益	▲238	4,628	▲4,866	—	▲958	+720	—
当期純利益	▲137	1,357	▲1,494	—	▲530	+393	—

2. 営業利益の増減要因(連結・前期比)

- 【売上総利益】 主として減収の影響により、売上総利益は約47億円の減益。
 【販管費】 社内システムの稼働開始に伴い減価償却費が約5億円増加したものの、営業費、人件費を中心に約4億円抑制した。
 【営業損失】 結果、2億95百万円の営業損失。営業赤字は2003年3月期以来。



3. 1 業種別売上高 <金融業>

単位:百万円

前期	10年3月期	増減率
24,565	18,561	▲24.4%

- ✓ 銀行業を中心に、年度を通じてプロジェクト凍結、先送りが頻発。前第3四半期に主要顧客向け大型案件を複数計上したことによる反動もあり、受託システム開発、ソフトウェア商品を中心に大幅減収となった。
- ✓ ソフトウェア製品も、ブレイニーワークスの統合によりソリューションの強化を図るも、地域金融機関のIT投資抑制の影響を受け、販売は伸び悩んだ。
- ✓ 一方、主要顧客向け海外支店システム更改案件は堅調。日銀ネット即時gross決済に対応した「流動性管理システム」、市場系ソリューションの分野で新たな大手顧客の開拓も進んだ。

3. 2 業種別売上高 <製造業>

単位:百万円

前期	10年3月期	増減率
28,929	23,284	▲19.5%

- ✓ 製品設計開発分野は、主要顧客向けPLMを中心としたシステム構築プロジェクトは拡大も、当社が主力とする自動車、機械、電機、精密は前期の後半から新規投資をほぼ全面的に凍結している企業が多く、コンサルティング、ソフトウェア製品およびソフトウェア商品を中心に大幅減収。
- ✓ 基幹業務の分野では、新規の顧客開拓が伸び悩み、ERPを中心にソフトウェア商品のライセンス販売、およびアドオン開発が減少した。

3. 3 業種別売上高 <サービス業>

単位:百万円

前期	10年3月期	増減率
13,433	11,459	▲14.7%

- ✓ 主要顧客のIT投資抑制の影響を受け、受託システム開発、アウトソーシング・運用保守サービス、情報機器販売が大きく減少した。
- ✓ 一方、電通グループとの協業案件、電通グループが推進する「プラットフォームビジネス」に関連する案件は拡大。

3. 4 業種別売上高 <流通業・その他>

単位: 百万円

前期	10年3月期	増減率
8,220	7,849	▲4.5%

- ✓ 大手顧客向け案件が前期に終了したことによる反動減があったものの、主要顧客向け基幹システムの運用保守案件は安定。
- ✓ ゲームソフト制作会社向け基幹業務(ERP)システムのアドオン開発、商社向け人事管理システム「POSITIVE」のアドオン開発・導入技術支援などの拡大もあり、全体では若干の減収に留まった。

4. サービス品目別売上高

【前期比】 顧客にとって新規投資となる、コンサルティング、受託システム開発を中心に、全サービス品目減収。アウトソーシング・運用保守サービスの減収は、前期に主要顧客向けに一時的な売上があった事による反動が主要因。

【予想比】 第4四半期に入り、一部の企業で予算執行再開の動きが見られ、リードタイムの短いソフトウェア商品のライセンス販売等が伸びた。

(百万円)

	10年3月期	前期との比較		2/3発表予想値との比較	
		09年3月期	増減率	予想	増減率
コンサルティングサービス	2,026	3,770	▲46.3%	1,981	+2.3%
受託システム開発	17,385	22,443	▲22.5%	17,371	+0.1%
ソフトウェア製品 (ライセンス/保守/人的サービス含む)	8,535	9,782	▲12.7%	8,767	▲2.6%
ソフトウェア商品 (ライセンス/保守/人的サービス含む)	21,096	25,222	▲16.4%	20,849	+1.2%
アウトソーシング・運用保守サービス	5,111	5,938	▲13.9%	4,990	+2.4%
情報機器販売・その他	7,000	7,990	▲12.4%	7,011	▲0.2%
合計	61,155	75,148	▲18.6%	60,971	+0.3%

5. 連結キャッシュ・フロー

単位:百万円

	2009年4月～ 2010年3月	2008年4月～ 2009年3月	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	1,937	9,663	▲7,726
投資活動による キャッシュ・フロー	▲2,785	▲6,340	+3,555
財務活動による キャッシュ・フロー	▲2,108	▲2,208	+100
現金及び現金同等物に 係る換算差額	▲41	▲92	+51
現金及び現金同等物の 増減額(▲は減少)	▲2,997	1,020	▲4,017
現金及び現金同等物の 期首残高	14,174	13,153	+1,021
現金及び現金同等物の 期末残高	11,215(※)	14,174	▲2,959

< 今期のトピック >

■ 営業活動によるキャッシュ・フロー

減価償却費(3,238百万円)
税金等調整前当期純損失(▲1,085百万円)
法人税等の支払(▲1,401百万円)

■ 投資活動によるキャッシュ・フロー

ソフトウェア等の無形固定資産の取得による支出
(▲1,308百万円)
投資有価証券の取得による支出(▲1,278百万円)

■ 財務活動によるキャッシュ・フロー

リース債務の返済による支出(▲1,457百万円)
配当金の支払(▲651百万円)

(※)新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額38百万円を含む

6. 連結貸借対照表

単位:百万円

	2010年 3月31日	2009年 3月31日	増減	主な増減要因(対前連結会計年度末)
流動資産	30,452	34,293	▲3,841	現金及び預金の減少(▲1,112百万円) 預け金の減少(▲1,622百万円) 受取手形及び売掛金の減少(▲546百万円)
固定資産	19,457	18,945	+512	投資有価証券の増加(1,269百万円) 繰延税金資産の増加(1,164百万円) のれんの減少(▲415百万円)
資産合計	49,910	53,239	▲3,329	
流動負債	14,763	17,126	▲2,363	未払法人税等の減少(▲1,322百万円) 前受金の減少(▲434百万円) 未払費用の減少(▲363百万円)
固定負債	1,666	1,942	▲276	
負債合計	16,429	19,068	▲2,639	
純資産合計	33,480	34,170	▲690	当期純損失の計上(▲137百万円)及び剰余金 の配当(▲651百万円)による利益剰余金の減少 (▲747百万円)等
負債純資産合計	49,910	53,239	▲3,329	

II. 2011年3月期 業績予想

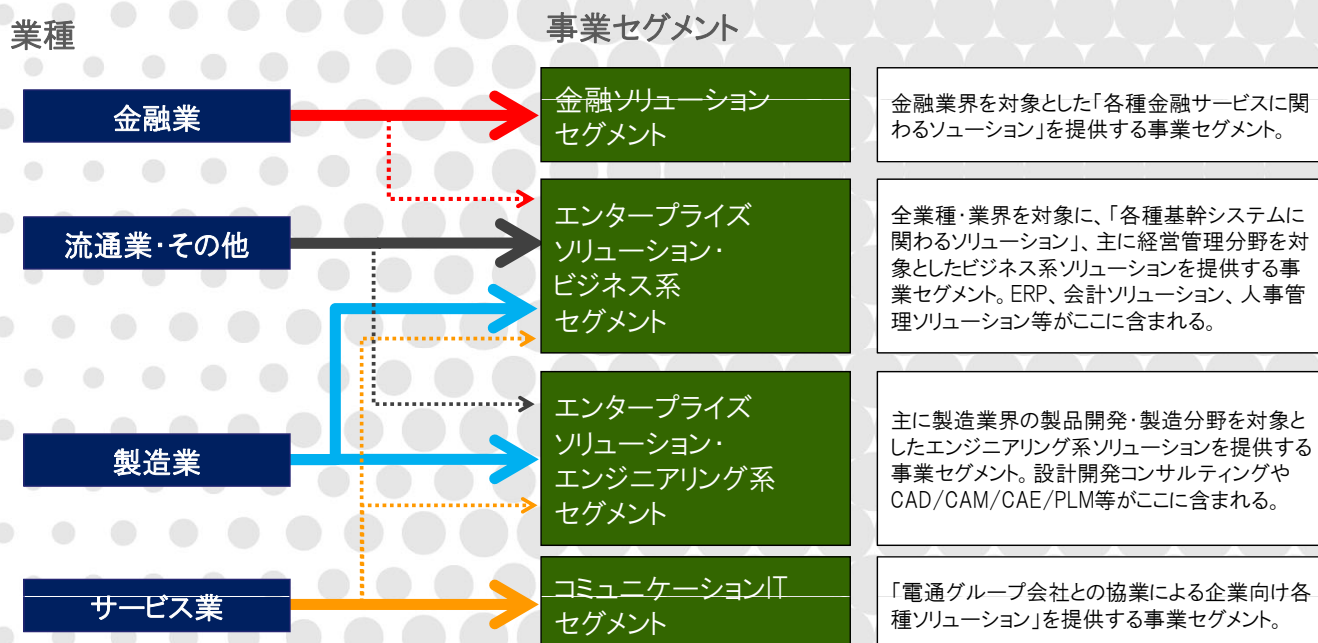
7. 1 2011年3月期 業績予想

- ✓ 景況感回復に伴い企業のIT投資は回復も、下期以降緩やかなペースになると見込む。
- ✓ 微増収に留まる中、営業利益を確保するため、グループ内製化／オフショア開発の活用等の原価低減、営業費／人件費の抑制を図る。ただし研究開発費は拡大。
- ✓ 合理化施策のため特別損失15億円(通期)を計画しており、当期純損失となる見込み。

	(百万円)				(百万円)			
	11年3月期 上期	10年3月期 上期	増減額	増減率	11年3月期 通期	10年3月期 通期	増減額	増減率
売上高	28,452	28,710	▲258	▲0.9%	62,913	61,155	+1,758	+2.9%
売上総利益	8,764	8,251	+513	+6.2%	19,832	18,744	+1,088	+5.8%
売上総利益率	30.8%	28.7%	+2.1pts	—	31.5%	30.6%	+0.9pts	—
販管費及び一般管理費	9,725	9,963	▲238	▲2.4%	18,887	19,040	▲153	▲0.8%
営業利益	▲960	▲1,712	+752	—	944	▲295	+1,239	—
営業利益率	▲3.4%	▲6.0%	+2.6pts	—	1.5%	▲0.5%	+2.0pts	—
経常利益	▲976	▲1,552	+576	—	935	▲238	+1,173	—
当期純利益	▲1,279	▲1,303	+24	—	▲561	▲137	▲424	—

7.2 事業セグメントについて

連結ベースでの事業戦略の策定・推進を目的として、事業セグメントを新設。
これまでの「業種別売上高」情報は、以下4つの「セグメント別売上高」に移行。



COPYRIGHT 2010 INFORMATION SERVICES INTERNATIONAL - DENTSU, LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

15

7.3 事業セグメント別売上高予想

- ✓ 製造業のIT投資が先行して回復すると見ており、ビジネス系セグメント、エンジニアリング系セグメントの拡大を図る。ビジネス系セグメントは、ERP等リードタイムの長いソリューションが多いため、上期に比べ下期の改善幅が大きくなると見込む。
- ✓ 金融業は上期はまだ厳しいが、下期にかけて回復に向かうと見込む。
- ✓ コミュニケーションITセグメントは、電通グループとの協業案件の拡大を図る。

	(百万円)				(百万円)			
	11年3月期 上期	10年3月期 上期	増減額	増減率	11年3月期 通期	10年3月期 通期	増減額	増減率
金融ソリューションセグメント	7,741	8,284	▲543	▲6.6%	18,210	18,250	▲40	▲0.2%
エンタープライズソリューション・ ビジネス系セグメント	6,050	6,483	▲433	▲6.7%	14,145	13,430	+715	+5.3%
エンタープライズソリューション・ エンジニアリング系セグメント	9,610	8,959	+651	+7.3%	19,692	19,014	+678	+3.6%
コミュニケーションITセグメント	5,047	4,983	+64	+1.3%	10,861	10,458	+403	+3.9%
合計	28,452	28,710	▲258	▲0.9%	62,913	61,155	+1,758	+2.9%

(注意) セグメント別の前期数値(10年3月期)については、参考数値となります。
事業セグメント外の売上が一部あるため、合計金額は一致しません。

COPYRIGHT 2010 INFORMATION SERVICES INTERNATIONAL - DENTSU, LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

16

7. 4 サービス品目別売上高予想

- ✓ コンサルティングサービスは、IFRS関連の拡大に加え、製造業の設計開発業務向けが回復の見込み。
- ✓ ソフトウェア製品は、地域金融機関向け「BANK・R」、日銀ネットに対応した「流動性管理システム」等に加え、注力している設計・開発業務支援システム「iPRIME NAVI」、ならびに新規に投入した基幹業務向けクラウドサービス「ビジネス・アクセラ for SAP ERP」などが拡大する見込み。
- ✓ 情報機器販売は、金融業ならびにサービス業の主要顧客向けが減少の見込み。

(百万円)

(百万円)

	11年3月期 上期	前期との比較			11年3月期 通期	前期との比較		
		10年3月期 上期	増減額	増減率		10年3月期 通期	増減額	増減率
コンサルティングサービス	1,388	876	+512	+58.4%	3,225	2,026	+1,199	+59.2%
受託システム開発	7,502	7,808	▲306	▲3.9%	17,600	17,385	+215	+1.2%
ソフトウェア製品	4,427	3,749	+678	+18.1%	10,694	8,535	+2,159	+25.3%
ソフトウェア商品	10,237	10,027	+210	+2.1%	21,278	21,096	+182	+0.9%
アウトソーシング・運用保守サービス	2,392	2,635	▲243	▲9.2%	5,102	5,111	▲9	▲0.2%
情報機器販売・その他	2,504	3,614	▲1,110	▲30.7%	5,012	7,000	▲1,988	▲28.4%
合計	28,452	28,710	▲258	▲0.9%	62,913	61,155	+1,758	+2.9%

COPYRIGHT 2010 INFORMATION SERVICES INTERNATIONAL - DENTSU, LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

17

8. 配当について

■基本方針

「株主への長期的かつ安定的な利益の還元」

2010年3月期
第2四半期末
10円



2010年3月期
第4四半期末
10円

2011年3月期についても、年間20円の配当を予定しています。

COPYRIGHT 2010 INFORMATION SERVICES INTERNATIONAL - DENTSU, LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

18

<参考資料> 2010年3月期個別業績、および 2011年3月期個別業績予想

COPYRIGHT 2010 INFORMATION SERVICES INTERNATIONAL - DENTSU, LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

19

◆ 2010年3月期業績<個別>

サマリ

(百万円)

	10年3月期	前期との比較			2/3発表予想値との比較		
		09年3月期	増減額	増減率	予想	増減額	増減率
売上高	52,992	59,485	▲6,493	▲10.9%	52,892	+100	+0.2%
売上総利益	15,326	16,643	▲1,317	▲7.9%	15,000	+326	+2.2%
売上総利益率	28.9%	28.0%	+0.9pts	—	28.4%	+0.5pts	—
販管費及び一般管理費	15,350	12,942	+2,408	+18.6%	15,560	▲210	▲1.3%
営業利益	▲23	3,700	▲3,723	—	▲560	+537	—
営業利益率	▲0.0%	6.2%	▲6.2pts	—	▲1.1%	+1.1pts	—
経常利益	343	4,040	▲3,697	▲91.5%	▲164	+507	—
当期純利益	100	976	▲876	▲89.8%	▲90	+190	—

(注意) 2009年10月1日付けで、連結子会社であった株式会社プレイネットワークス、株式会社iSiDテクノロジーソリューションズをiSiD単体へ統合しております。

COPYRIGHT 2010 INFORMATION SERVICES INTERNATIONAL - DENTSU, LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

20

◆ 2010年3月期業績＜個別＞

業種別売上高

(百万円)

	10年3月期	前期との比較	
		09年3月期	増減率
金融業	14,086	16,742	▲15.9%
製造業	20,908	23,323	▲10.4%
サービス業	10,973	12,744	▲13.9%
流通業・その他	7,023	6,674	+5.2%
合計	52,992	59,485	▲10.9%

(注意) 2009年10月1日付けで、連結子会社であった株式会社プレイネットワークス、株式会社iSiDテクノソリューションズをiSiD単体へ統合しております。

◆ 2010年3月期業績＜個別＞

サービス品目別売上高

(百万円)

	10年3月期	前期との比較		2/3発表予想値との比較	
		09年3月期	増減率	予想	増減率
コンサルティングサービス	1,289	2,325	▲44.6%	1,276	+1.0%
受託システム開発	14,451	18,353	▲21.3%	14,437	+0.1%
ソフトウェア製品 (ライセンス/保守/人的サービス含む)	6,603	5,229	+26.3%	6,818	▲3.2%
ソフトウェア商品 (ライセンス/保守/人的サービス含む)	19,622	22,042	▲11.0%	19,426	+1.0%
アウトソーシング・運用保守サービス	4,822	5,486	▲12.1%	4,711	+2.4%
情報機器販売・その他	6,202	6,048	+2.5%	6,221	▲0.3%
合計	52,992	59,485	▲10.9%	52,892	+0.2%

(注意) 2009年10月1日付けで、連結子会社であった株式会社プレイネットワークス、株式会社iSiDテクノソリューションズをiSiD単体へ統合しております。

◆ 2011年3月期業績予想＜個別＞

サマリ

	11年3月期 上期	前期との比較			11年3月期 通期	前期との比較		
		10年3月期 上期	増減額	増減率		10年3月期 通期	増減額	増減率
売上高	25,290	22,373	+2,917	+13.0%	55,466	52,992	+2,474	+4.7%
売上総利益	7,651	5,745	+1,906	+33.2%	17,207	15,326	+1,881	+12.3%
売上総利益率	30.3%	25.7%	+4.6pts	—	31.0%	28.9%	+2.1pts	—
販管費及び一般管理費	8,581	7,107	+1,474	+20.7%	16,658	15,350	+1,308	+8.5%
営業利益	▲930	▲1,362	+432	—	549	▲23	+572	—
営業利益率	▲3.7%	▲6.1%	+2.4pts	—	1.0%	▲0.0%	+1.0pts	—
経常利益	▲841	▲1,001	+160	—	742	343	+399	+116.3%
当期純利益	▲1,132	▲754	▲378	—	▲649	100	▲749	—

(注意) 2009年10月1日付けで、連結子会社であった株式会社プレイネットワークス、株式会社iSiDテクノソリューションズをiSiD単体へ統合しております。

◆ 2011年3月期業績予想＜個別＞

事業セグメント別売上高

	11年3月期 上期	前期との比較			11年3月期 通期	前期との比較		
		10年3月期 上期	増減額	増減率		10年3月期 通期	増減額	増減率
金融ソリューションセグメント	6,671	5,031	+1,640	+32.6%	15,970	13,830	+2,140	+15.5%
エンタープライズソリューション・ビジネス系セグメント	5,722	4,959	+763	+15.4%	13,390	11,833	+1,557	+13.2%
エンタープライズソリューション・エンジニアリング系セグメント	9,125	7,408	+1,717	+23.2%	18,611	16,903	+1,708	+10.1%
コミュニケーションITセグメント	3,771	4,973	▲1,202	▲24.2%	7,494	10,425	▲2,931	▲28.1%
合計	25,290	22,373	+2,917	+13.0%	55,466	52,992	+2,474	+4.7%

(注意) 2009年10月1日付けで、連結子会社であった株式会社プレイネットワークス、株式会社iSiDテクノソリューションズをiSiD単体へ統合しております。セグメント別の前期数値(10年3月期)については、参考数値となります

◆ 2011年3月期業績予想＜個別＞

サービス品目別売上高

	11年3月期 上期	前期との比較			11年3月期 通期	前期との比較		
		10年3月期 上期	増減額	増減率		10年3月期 通期	増減額	増減率
コンサルティングサービス	1,080	574	+506	+88.2%	2,369	1,289	+1,080	+83.8%
受託システム開発	6,414	5,889	+525	+8.9%	15,235	14,451	+784	+5.4%
ソフトウェア製品	4,419	1,861	+2,558	+137.5%	10,675	6,603	+4,072	+61.7%
ソフトウェア商品	9,896	8,675	+1,221	+14.1%	20,582	19,622	+960	+4.9%
アウトソーシング・運用保守サービス	1,326	2,469	▲1,143	▲46.3%	2,950	4,822	▲1,872	▲38.8%
情報機器販売・その他	2,153	2,902	▲749	▲25.8%	3,653	6,202	▲2,549	▲41.1%
合計	25,290	22,373	+2,917	+13.0%	55,466	52,992	+2,474	+4.7%

(注意) 2009年10月1日付けで、連結子会社であった株式会社プレイネットワークス、株式会社iSiDテクノソリューションズをiSiD単体へ統合しております。

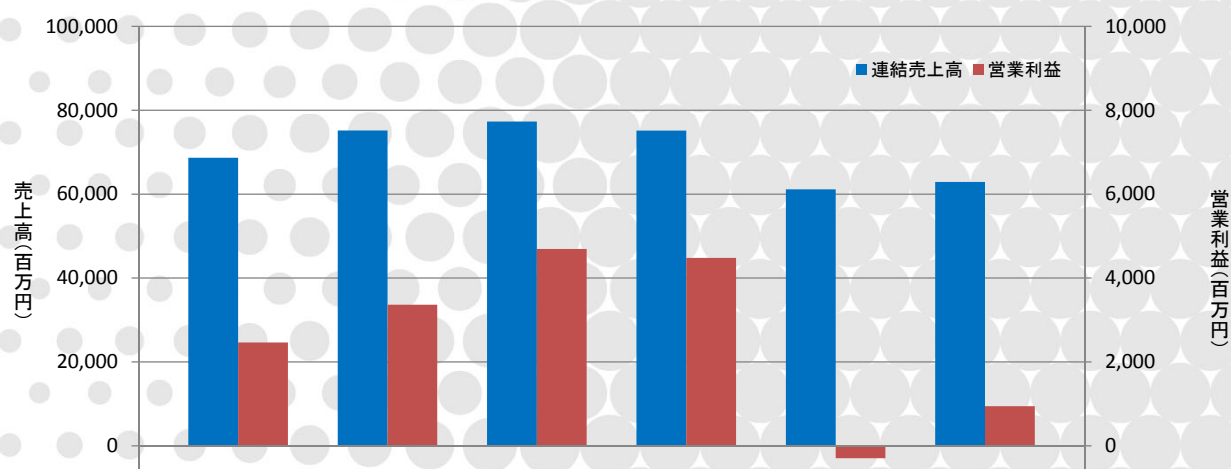
2011年3月期経営方針について

代表取締役社長 最高執行責任者
釜井 節生

2010年3月期の総括

1. ISiDグループ業績推移

- リーマン・ショックに端を発した景気後退を背景に、2009年3月期下期以降、企業のIT投資の急激な抑制が進み、ISiDグループの2010年3月期業績は大幅な減収減益。
- 2011年3月期は、増収・営業黒字回復を果たすとともに、事業環境に対応した継続的収益拡大の基盤を構築する。



<連結>	2006/3期	2007/3期	2008/3期	2009/3期	2010/3期	2011/3期
売上高	68,693	75,171	77,311	75,148	61,155	62,913
営業利益	2,464	3,363	4,694	4,481	-295	944
営業利益率	3.6%	4.5%	6.1%	6.0%	-0.5%	1.5%

2. 2010/3期環境要因分析と2011/3期見通し

iSiD

IT Solution Innovator

■コンサルティング
■ソフトウェア製品
■アウトソーシング運用保守サービス

■受託システム開発
■ソフトウェア商品
■情報機器販売・その他

2011/3期(中計最終年度)
現在予想 中計目標

<2010/3期分析>

外部環境

IT投資厳しい抑制。新規プロジェクト・次フェーズ投資凍結頻発

内部環境

<事業ポートフォリオ(売上構成)>

- ・アウトソーシング運用保守等ストック型ビジネス構成比および収益性が高いソフトウェア製品の売上構成が低い。

<顧客ポートフォリオ>

- ・重点顧客とのリレーションは強固である一方、売上拡大・安定化のため新規顧客・業種の開拓、中位顧客の深耕課題。

<提案力・ソリューション力>

- ・事業部門連携ソリューションは推進途上。
- ・自社ソフトウェア製品開発推進も、売上牽引には新規投入不足。
- ・売上総利益率は、30%水準を維持。

<コスト構造>

- ・原価は、内製化を推進。オフショア化はさらなる拡大が必要。
- ・販管費は、外注費削減等抑制に努めるも、減価償却費増で横ばい。

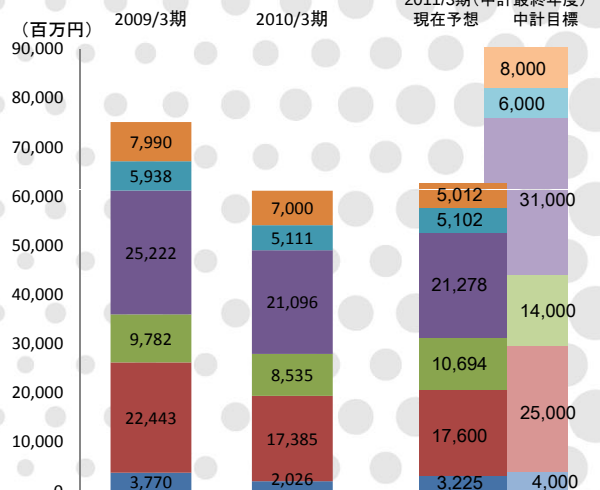
<スピード>

- ・上記要因への対応スピード不足。

<2011/3期見通し>

売上高: 当初計画値88,000百万円→見込62,913百万円

- ・受託システム開発・ソフトウェア製商品の売上高が大きく乖離の見通し



売上高	75,148	61,155	62,913	88,000
売上総利益	23,396	18,744	19,832	
利益率	31.1%	30.7%	31.5%	
販管費	18,915	19,040	18,887	
販管費率	25.2%	31.1%	30.0%	
営業利益	4,481	-295	944	6,200
利益率	6.0%	-0.5%	1.5%	7%

COPYRIGHT 2010 INFORMATION SERVICES INTERNATIONAL - DENTSU, LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

iSiD

IT Solution Innovator

2011年3月期の施策・方針

3. 事業環境認識

2011/3期IT投資回復の兆し。ただし、当面は緩やかな基調。

企業のIT投資は、案件選別の厳格化、費用対効果の要求が一段と強まる。

ユーザ企業のビジネス変革は、ITサービスの事業機会を拡大する。

4. 2011/3期 3大方針

ISiDグループ「再生元年」とするために

1. 競争優位性の追求

1. R&Dのさらなる推進によるソフトウェア製品・商品の強化・差別化促進
2. “グローバル”、“マーケティング”、“クラウド”領域の事業開発・推進

(単位: 百万円)

	2010/3期	2011/3期 計画
経費性R&D	1,139	2,386
資産性R&D	473	600
合計	1,613	2,986

2. 収益構造の抜本改革

1. 固定費削減: 早期退職プログラムおよび転籍プログラムの実行
2. 原価低減: オフショア開発の推進

(単位: 人月)

	2009/3期	2010/3期	2011/3期 計画
オフショア発注工数	約1,800	約1,900	約2,400

3. 安定収益基盤拡充への継続的取組み

1. アウトソーシング・運用保守受託専業子会社ISiD-AOの本格稼働
2. クラウドビジネスの推進加速
3. 新規顧客・業種開拓による顧客ポートフォリオの拡充
4. 継続的品質向上。不採算案件防止の徹底による収益の確実な確保

5. キーワード“グローバル”、“マーケティング”、“クラウド” *iSiD*

IT Solution Innovator

事業環境認識：企業のビジネス変革は、ITサービスの事業機会を拡大する。

- 多くの企業が海外市場での需要獲得を目指し、グローバル展開を強化。海外拠点のIT高度化やグローバル経営のIT支援ニーズが強まる。
- 海外市場、国内市場における競争に勝つため、IT活用によるマーケティングの強化が進む。
- ITの「所有」から「利用」への流れは継続。クラウドコンピューティングはコスト削減目的の利用から新たなビジネス創出のための活用に進化。

ISiDの取り組み

Global	◆顧客企業の海外展開を支援	
	【中国強化】	北京拠点開設。電通グループとともにマーケティング領域のソリューション構築・提供
	【顧客の海外展開支援】	製造業・金融業等のグローバル経営を支えるITソリューション構築・導入支援
Marketing	◆電通グループのITサービス企業として市場開拓を推進	
	【プラットフォームビジネス推進】	電通グループとともに、広告・販売促進領域のサービス基盤構築を推進
	【IM3C実現】	製造業のマニファクチャリングプロセスやマネジメントプロセスと連携するマーケティングプロセスのソリューション構築
※プラットフォーム・・・企業・生活者・メディアが相互に直接的コミュニケーション・取引・消費を行う基盤 ※IM3C・・・Manufacturing、Management、Marketingのプロセスを連携し統合するソリューションコンセプト		
Cloud	◆顧客のビジネス課題に応じた最適クラウド環境を選択、課題解決を実現	
	【コンサルティング】	IT戦略立案、IT資産棚卸・評価、クラウドSIコンサルティング
	【クラウドSI/SO】	クラウド活用ソリューション構築・運用（パブリック、プライベート、ハイブリッド）
	【SaaS】	ISiD独自アプリSaaS化、海外クラウドソリューションの販売
		CLOUD/iS (クラウドイース) ブランドネーム

6. 事業セグメント別顧客動向および2011/3期方針(1) *iSiD*

IT Solution Innovator

金融業ソリューションセグメント

顧客動向	● 大手金融機関は、アジア中心に海外ビジネス拡大を志向し現地での顧客サービス強化。 ● 地域金融機関は、顧客密着型のきめ細かいサービス拡充を志向。 ● 金融関連規制の強化や決済制度改革を通じた市場インフラ整備が進展。
2011/3期方針	◆ 注力領域(市場系、海外勘定系、決済、地域金融)におけるソフトウェア製品・商品強化と顧客ポートフォリオ拡充 ◆ 海外現法及びオフショアパートナーと連携し、金融機関の海外ビジネス支援をさらに強化 ◆ ISiD-AOと連携しサービス型ビジネスを拡充

エンタープライズソリューション・ビジネス系セグメント

顧客動向	● 企業のビジネス変革が進行。コアビジネスへ集中が進むとともに、グローバル化加速。 ● システムは、個別最適化された状態から、統合・連携に向かう動き。
2011/3期方針	◆ IFRS対応のコンサルティングやソリューションの拡充 ◆ 企業のグローバル展開を支援するために、SAPクラウドサービス「Business ACXEL」はじめERP領域のソフトウェア製品・商品・サービスを強化 ◆ マーケティング領域と基幹システムを連携するシステム・インテグレーションを推進(IM3C実現)

6. 事業セグメント別顧客動向および2011/3期方針(2) *iSiD*

IT Solution Innovator

エンタープライズソリューション・エンジニアリング系セグメント

顧客動向

- 設計開発領域の経営課題は高度化しており、部署ごとの個別最適から全体最適を求める動きが加速している。
- アジアを中心とする新興国市場に設計・開発段階から機能をシフト

2011/3期方針

- ◆ 設計開発業務プロセスの可視化(3軸連携ソリューション)の「iPRIME」を中心とした本格展開
- ◆ 構想設計段階から生産まで、一貫したSIサービスの推進(IM3C実現)と顧客のROI最大化
- ◆ エンジニアリングソリューションのグローバル展開

コミュニケーションITセグメント

顧客動向

- 広告・マーケティング市場の厳しい環境は継続。
- Dentsu Innovation 2013が本格推進。プラットフォームビジネスへの取組みが活発化。

※Dentsu Innovation 2013・・・電通グループ中期経営計画

2011/3期方針

- ◆ 電通グループのITパートナーとしてシステムの高品質開発、安定運行をさらに推進する。
- ◆ 電通グループとともにDentsu Innovation 2013を推進。前期実施の「エコポイント・システム」開発参画に続き、さらなるプラットフォームビジネスに取り組み、競争優位なソリューションを創出。
- ◆ 電通グループとともに中国・アジアでのビジネス展開を図る。

COPYRIGHT 2010 INFORMATION SERVICES INTERNATIONAL - DENTSU, LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

35

7. 早期退職プログラムおよび転籍プログラムについて *iSiD*

IT Solution Innovator

1. 早期退職プログラムの実施

募集人員数	100名程度
募集対象者	原則45歳以上の正社員。但し、一部部署については年齢制限無し。
退職日	2010年7月31日
その他	早期退職一時金を支給

2. 転籍プログラムの実施

以下の通り、当社子会社への転籍を実施するもの

対象人員数	160名程度
転籍日	2010年8月1日
その他	転籍奨励金を支給

3. 人件費削減規模および特別損失の発生について

人件費削減額(年間ベース)	最大約1,000百万円
早期退職一時金・転籍奨励金の支払いによる特別損失	最大約1,500百万円

COPYRIGHT 2010 INFORMATION SERVICES INTERNATIONAL - DENTSU, LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

36

8. 最近のトピック(主要プレスリリース2010年1～4月)

金融ソリューションセグメント

- ◆ 浜松信用金庫の個人向け取引戦略立案にコンサルティング提供
- ◆ 日銀ネット次世代RTGS第2期対応にむけ、金融機関の大口決済を支える「流動性管理システム」次期版の開発に着手
- ◆ 地域金融機関向けの企業経営診断ツール提供開始
- ◆ 金融機関向けマネー・ロンダリング対策ソリューションを提供開始
- ◆ 地域金融機関向け融資支援システムを強化、中小企業金融円滑化法に対応

エンタープライズソリューション・ビジネス系セグメント

- ◆ クラウドコンピューティングによるSAPアプリケーションのアップグレード支援サービス「Panaya」の自動プログラム修正機能「ACC」を提供開始
- ◆ IFRS 教育講座を開始
- ◆ 連結会計ソリューションSTRAVIS のVer.4.0を提供開始
- ◆ 良品計画にキャンペーン・マネジメント・ソフトウェアを提供
- ◆ バンダイナムコホールディングスの人事シェアードサービスの基盤システムをパッケージソフト「POSITIVE」で構築

エンタープライズソリューション・エンジニアリング系セグメント

- ◆ 3次元CAD分野で、I-deasユーザーのNX移行が加速
- ◆ ブリュエル・ケアー社製の音響振動実験解析システムPULSEの販売開始
- ◆ 日産自動車への3次元設計データ納入作業を省力化するシステムの提供開始

コミュニケーションITセグメント

- ◆ ホワイトスペース活用に向け、クラウド連携エリア・ワンセグの実証実験を実施

クラウド・他

- ◆ Amazon Web Servicesとパートナーシップ締結
- ◆ 株式会社エムズサイエンスにセキュアな企業間情報共有サービス「IntraLinks Exchanges」を提供
- ◆ 第一三共株式会社にセキュアな企業間情報共有サービス「IntraLinks Exchanges」を提供
- ◆ クラウド対応のオープンソースフレームワーク「Slim3」の商用サポートサービス提供開始
- ◆ HD映像伝送技術でNICTの実証実験に協力

注) この資料に記載しております売上高及び利益の予想数値は、業界の動向、顧客の状況、その他現時点で入手可能な情報による判断及び仮定により算出しております。
従いまして、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における内外の状況変化等により、実際の売上高及び利益は当該予想とは異なる場合がありますのでご承知おきください。